

平成19年8月1日発行

# 木津川市

創刊号

## 議会だより



### 七夕まつり



#### もくじ

2~3	議長挨拶、臨時議会	12~15	代表質問
4~5	本会議審議結果	16~25	一般質問
6~7	予算特別委員会	26	わたしの意見
8~11	各常任委員会		広報編集後記

# 臨時議会

5月9日・10日、臨時議会が開会され、議会三役や委員会構成を決定した。また、専決処分した条例の一括承認や、議案42件の採決を審議。副市長を2人にする条例は、1人にする修正案を議会提案し、全員賛成で可決した。他の議案はすべて、承認・可決した。

**副市長定数条例の制定**  
地方自治法の規定に基づき、木津川市副市長の定数を2人以内とする。

**質疑において、議員から参与2人が在任している中で、副市長が2人必要なかという質問があり、また、1人が適当であるとの意見が多くあったために、議会から「副市長の定数は1人」とする修正案を提出した。**  
**修正案を賛成全員で可決**

3月12日の木津川市発足の213件の市長職務執行者による専決処分の承認。

## 討論

反対

そもそも213件の一括採決は問題。参与設置

有事のための国民保護協会や手数料値上げ、介護保険、国保の値上げでサービスタ下もあり、**反対**

村城 恵子

賛成

いくつかの問題はあるが、今後柔軟に対応し見直しも行う、ということなので、**賛成**

曾我 千代子

**賛成多数で可決**  
政務調査費の交付条例制定。(議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派議員には月額1万円・無会派議員には7000円を支給)

## 討論

反対

年間12万円ではある

が、財政難のおりであることから**反対**

梶田 和良

賛成

政治には金がかかる。領収書の添付で正々堂々と使っべきだ。会派制が決まっているのだから、会派活動費の3千円は当然である。

高味 孝之

**賛成多数で可決**  
京都府後期高齢者医療広域連合への加入。(75歳以上の高齢者を現行保健から分離。来年4月から実施)

## 討論

反対

75歳以上のすべての人



## 議会だよりの発行にあたって

議長 木村 浩三

夏本番を迎え、皆様方におかれましては、お元気で過ごすごしのこととお慶び申し上げます。平素は、議会活動に深いご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。木津川市が誕生し、選挙で選ばれました議員26人は、皆様の期待

に応えるべく日々努力を重ねております。市民の注視の中、5月9日・10日に初議会、6月8日から27日まで第1回定例市議会が開会されました。議員はそれぞれ皆様のご期待と負託に応えて全力で奮闘し、大変活発な議論が展開されました。市議会の内容をご報告し、議会活動を身近に感じていただくため、木津川市議会だよりを発刊いたします。限られた紙面にすべてを掲載することはできませんが、茶の間と議会を結ぶかけはしとなるよう、全議員一致協力して取り組んでまいります。皆様方から、多くのご意見を寄せていただくことをお願い申し上げます。ごあいさついたします。

副議長 片岡 廣  
監査委員 大西 宏

議会運営委員会(7人)  
委員長 中谷 裕亮  
副委員長 織田 廣由  
委員 宮嶋 良造  
高味 孝之  
中野 重高  
山本 喜章  
曾我千代子

総務常任委員会(7人)

厚生常任委員会(6人)

産業建設常任委員会(7人)

文教常任委員会(6人)

常任委員会は4つに決定。(委員氏名一覧は、委員会報告の中に掲載)

## 党派

イレブンの会

代表 曾我 千代子

尾崎 輝雄

梶田 和良

片岡 廣

木村 浩三

倉村 克伊

高味 孝之

阪本 明治

出谷 伸幸

中谷 裕亮

吉元 善宏

伊藤 喜章

山本 紀味枝

伊藤 喜章

大西 範宏

七条 孝之  
深山 國男  
西岡 政治  
中野 重高

代表 宮嶋 良造  
村城 恵子  
森岡 弘一  
酒井 弘一

代表 織田 廣由  
島野 均

代表 宮嶋 良造  
村城 恵子  
森岡 弘一  
酒井 弘一

代表 織田 廣由  
島野 均

国保条例の一部改正課税最高限度額を53万円から56万円に変更。

から保険料を徴収。年金から天引きし、医療給付を抑制するための制度で**反対**

公的年金特別控除や老年者特別控除の縮小でふつつでも国保税が引き上げられるときに、最高限度額を3万円も上げれば支払能力を超え、**反対**

**賛成多数で可決**  
宮嶋 良造



木津川市が発足(市役所本庁)

# 木津川市初の予算決まる

## 6月定例会

6月定例会が、6月8日から27日まで20日間の会期で開会した。  
平成19年度一般会計予算や特別会計予算など、議案22件・人事案件10件を審議し、全議案を可決した。本会議初日に、副市長として、元京都府山城広域振興局副局長の今井洋一氏を選任。

### 平成19年度一般会計予算

平成19年度一般会計予算額は、207億8500万円、平成18年度旧3町当初予算202億1002万3千円と比較すると5億7497万7千円（2.8%）増額しました。賛成多数で可決。

#### 討論

反対

企業誘致等に多額の税金を使い、財政難を理由に住民サービスカットや負担を強要している。「人権」の名で、利権に道を開く新たな予算は問題。  
村城 恵子

賛成

子育て支援の推進、企業立地の促進、コミュニティバスの運行など合併初年度予算として努力がみられるので、賛成する。  
出栗 伸幸

賛成

合併協議会の議論の結果が予算案になっていく。100%満足とはいかないが財政難の中、知恵を絞って組んでいるのを評価して賛成する。  
中谷 裕亮

賛成

総じて住民サービスの低下に配慮し、合併の目的である行財政改革を視野に入れ、財政の健全化に力点を置いた予算であることを評価する。  
深山 國男

### 国民健康保険特別会計

予算総額47億4391万2千円。旧3町の当初予算の総額と比べると、14.5%増の予算。  
19年3月末の木津川市国民健康保険における世帯数は、9676世帯、被保険者数は1万9331人。

#### 討論

反対

14年ぶりの大幅な課税限度額引き上げ。所得控除額の減額で、支払い能力を超える負担増が予想される。くらし・家計をきびしく圧迫し、反対。  
酒井 弘一

賛成

基金の取崩しをしてでも、加入者健康保持増進対策に努められ、また税負担の平準化や健全な財政運営に鋭意努力を期待し、賛成する。  
出栗 伸幸

### 介護保険特別会計

旧3町の実績に基づいて28億9300万円の予算。要支援1から要介護5までの認定者数は1634人。

#### 討論

反対

介護保険の改正で必要な介護が受けられない「介護難民」が増えた。市は高齢者福祉手当の対象者の削減、在宅老人介護者激励金をなくした。  
森岡 讓

賛成

新市事業計画を策定し、保険料の決定では所得段階区分を7段階を採用することにより、低所得者への負担軽減措置がとられ賛成する。  
出栗 伸幸



新庁舎建設始まる

### 企業立地促進条例

本市において本店または工場、研究所その他の事業場を設置する企業に対して、助成金の交付を行うため「木津川市企業立地促進条例」を制定した。  
一定の要件を満たせば事業場設置助成金、雇用創出助成金、操業支援助成金を交付する。

#### 討論

反対

企業立地促進は必要。第一の責任は、国・UR（都市再生機構）にある。市の破格の補助金は一部の企業に優遇を与えるもの。正規雇用につながることも問題。  
宮嶋 良造

賛成

税金による財政への波及効果、雇用増加のメリットがある。関西化学術研究都市の特色を活かし、企業誘致で、木津川市を発展させるべし。  
深山 國男

反対

助成金の限度額1億5千万円は高額。市長は限度なしの自治体もあると答弁。企業争奪戦のような施策は危うく、企業優先の本条例に反対。  
呉羽 真弓

賛成

学研都市、木津川市の特性を活かし、積極的な産業振興、支援、さらには障害者を含めた雇用促進に向けた助成を組み合わせた内容である。  
伊藤紀味枝

### 市長の資産等を公開する条例

木津川市長の資産等を公開する条例が、提案された（原案）。これに対して、共産党議員団から副市長・教育長・議員も含める修正案が提出された。修正案は賛成少数で否決。原案を全員賛成で可決した。

#### 討論

修正案賛成

副市長・教育長・議員も資産を公開する事で、今後4年間不正を行わないとの姿勢を示せる。政治倫理確立の第一歩と考え賛成。  
村城 恵子

原案賛成

市長の資産状況を広く市民による不断の監視と批判のもとにおき、市長の資産等を公開する措置を講じ、民主政治の健全に資するため原案に賛成。  
片岡 廣

修正案の主旨は大いに賛同するが、全員協議会などで十分に論議し、発議すればよく、拙速をまぬがれない。  
深山 國男

賛成  
曾我千代子

### 人事案件

副市長

今井 洋一（59歳）  
京都市左京区

選挙管理委員

・上原 精一郎  
木津川台



・植村 繁  
木津町奈良道

人権擁護委員

・杉本 博  
木津町奈良道

・木村 武平  
山城町綺田

・中西 喜和美  
木津川原田

・福井 弘  
山城町上狛

・尾崎 廣子  
市坂奈良道

・土井 正文  
兜台

・中村 禎夫  
南加茂台

・加田 征嘉  
木津殿城

・森 好美  
加茂町例幣

・国光 みゆき  
南加茂台

・大山 圭一  
山城町椿井

# 予算特別委員会

6月18日・20日・21日の3日間、議長を除く全議員で予算特別委員会を開会。19年度一般会計予算を審査し、賛成多数で可決した。

## 主な質疑

**Q**初めての本格予算であるが、新市基本計画との比較では、地方交付税が減少し、基金繰入金が増加。歳出では人件費や物件費、補助金等が増加している。合併のスケールメリットが見えない。合併協議での財政シミュレーションの基金残高見込みがすでに崩れているのではないか。

**A** 総務部長 合併により財政健全化がただちにできるわけではない。今後、事務事業の見直しを行い、行財政改革を進める。

**Q**国民年金の関係で、旧3町の台帳はそろっているか。また、社会保険庁から市町村に照会される経費は国負担と聞かぬか。

**A** 社会福祉課長 台帳はそろっている。照会があれば回答できる。費用負担は通知がない。

**Q**出生57日からの保育や一時保育が実施されている。正職員より嘱託職員、臨時職員が多いところが多い。長時間でもあり、臨時職員確保に苦労されていると聞く。

**A** 子育て支援課長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職員が望ましいが、職員採用の見合わせもあり、嘱託職員での対応としている。

**Q**民生費が旧3町の18年度予算と比較して、10億円以上、21.8%の増加となっているがなぜか。

**A** 子育て支援課長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職員が望ましいが、職員採用の見合わせもあり、嘱託職員での対応としている。

**Q**社会福祉課長 台帳はそろっている。照会があれば回答できる。費用負担は通知がない。

**A** 社会福祉課長 台帳はそろっている。照会があれば回答できる。費用負担は通知がない。

**Q** 税法改正により市民税は増加した。所得税と市民税の総額では変わらないが、ケースによっては税が増える住民がある。その救済策は。

**A** 収入対策課長 納税相談が一週間で15件あった。公平公正な面から未納者の状況を調査し、大口滞納者に対する指導や法的措置を含めた滞納処分を行う。

**Q** 3月末に基幹業務システムがダウンし市民に迷惑をかけた。原因は何であるのか、今後の対応は。

**A** 収入対策課長 発生後40分で復旧したが、大変迷惑をおかけした。原因はサーバーボードの故障によるものである。今後起こらないような対策をするとともに、起こったとしても被害が最小限にとどめる対策を講じたい。

**Q** 市民・府民税が上がると思いが、その対策は。

**A** 収入対策課長 発生後40分で復旧したが、大変迷惑をおかけした。原因はサーバーボードの故障によるものである。今後起こらないような対策をするとともに、起こったとしても被害が最小限にとどめる対策を講じたい。

**Q** 保健福祉課長 母子福祉推進事業960万7千円、生活保護費支給事業3億5900万円など、市となったことによる事務権限委譲分にかかる経費、および（仮称）さくら保育園建設補助金1億3827万円や、児童手当制度拡充による支給額の増加等が主なもの。

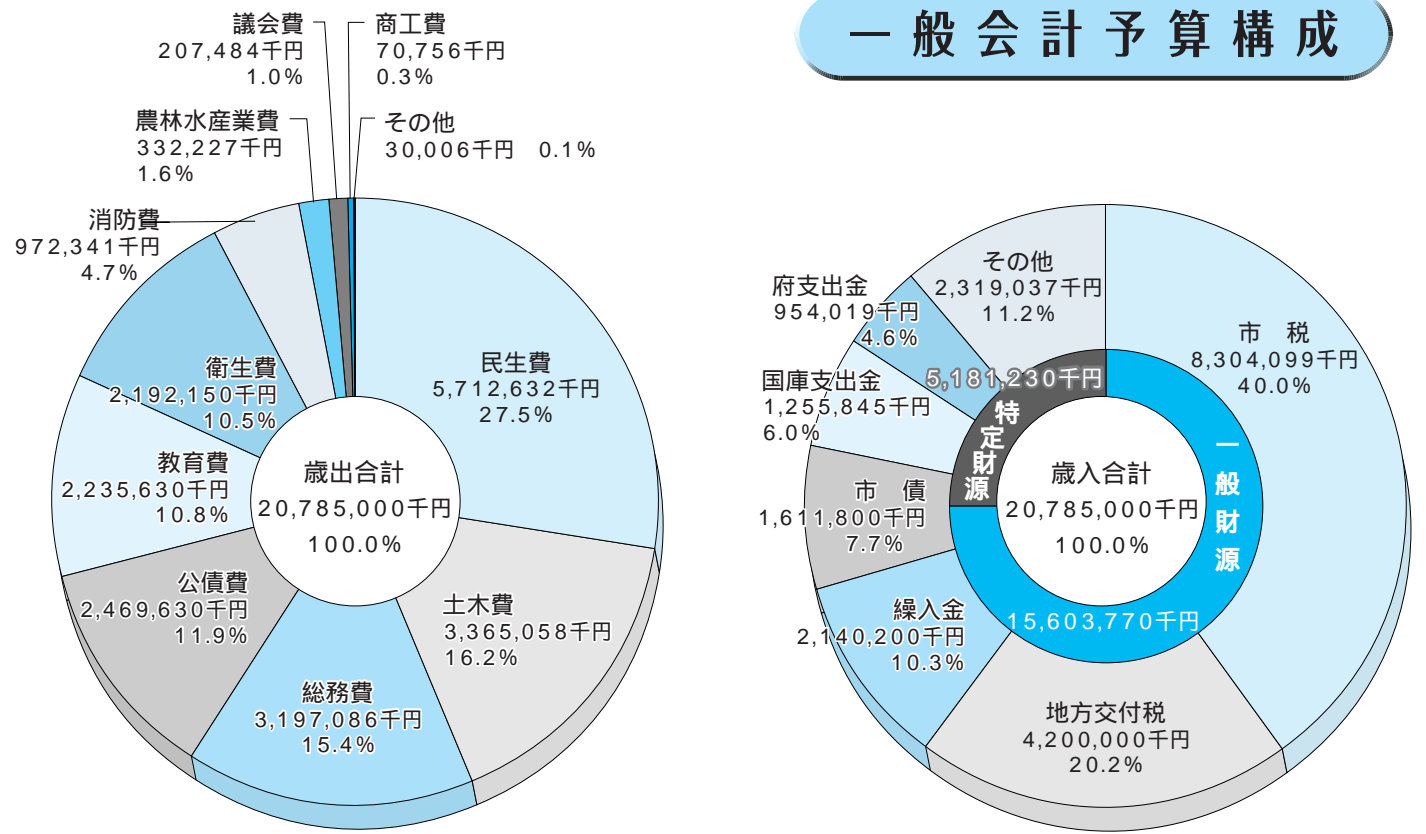
**Q** 山城地区市町村連絡協議会、人権政策確立要求実行委員会補助金等は、解散や同和対策事業がなくなる中で、予算化の必要はないのでは。

**A** 生活環境部長 4月現在では、組織があるので予算化している。5月に組織再編の準備会発足、8月から新組織としての運営を予定されている。

**Q** 社会体育施設によって使用料が異なっている。合併後に検討するということだが。

**A** 建設課長 奈良市が12年度より、国道369号から木津南地区までの約1460m、幅員10mの整備を行っている。昨年度に木津町と奈良市で協定を締結して、市域の延長110mの工事を受託している。

## 一般会計予算構成



## 討論

**反対**  
子ども医療費の無料拡大など評価できる。しかし、企業誘致には多額の税金を使う一方、弱者への配慮がない。また、人権の名で、利権への道を新たに開こうとしている。

**賛成**  
この予算は十分とはいえないが、財政難の時にいろいろ知恵を絞って、ここまで仕上げた。今後とも行政として、予算執行に知恵を絞っていたら、すばらしい成果が上がるように願う。

## 一般会計予算の主な施策

### 旧3町の特性を活かした発展の調和

- \* 企業・研究施設の誘致（企業立地促進事業） 5,361万円
- \* 文化財の保全・管理（史跡等買上事業 他） 1億1,382万円

### 子育て支援No.1 / 安心・安全なまちの推進

- \* （仮称）木津さくら保育園建設補助（民間保育園施設整備補助事業） 1億3,827万円
- \* 小学校警備の充実（安全対策事業） 2,363万円
- \* 木津川市地域防災計画の策定（防災対策事業） 950万円

### 省資源で環境共生型のまちの推進

- \* 資源ごみ・リサイクル・ごみ減量化の推進 2,454万円

### 行政サービスの充実・行財政改革の推進

- \* コミュニティバスの運行 1億1,045万円
- \* 木津川市総合計画の策定・行財政改革検討委員会の設置 575万円

## 総合計画の策定は市民参加で

### 総務委員会

6月14日、本会議で付託された議案12件について、委員会を開催し審査を行った。

**全議案可決**

政治倫理の確立のための木津川市長の資産等の公開に関する条例の制定

賛成多数で可決  
り、特別職までは広げない。

総合計画審議会条例の制定

「国会議員の資産等の公開に関する法律」に基づき、木津川市長の資産等の公開に必要事項を定めるもの。

Q 市長以外の特別職の資産等も公開すべきでは。  
A 法律に基づいてお

市の総合計画を策定するため、市長の附属機関として審議会を設置するもの。  
Q 市長が必要と認める委員とは。

簡素で効率的な市政を実現するため、市長の附属機関として委員会を設置するもの。  
Q 開催回数は2回となっているが充分か。  
A 19年度中は2回。20

行財政改革推進委員会条例の制定

賛成多数で可決  
A 他市と比較して少ない。幅広く意見交換ができる人数であると考えている。

A 商工・農業者や福祉、教育の分野で代表者に限らず、広く推薦していただく。  
Q 15人の委員では少ないのでは。

企業立地促進条例の制定

本店または工場、研究所その他の事業所を設置する企業に対し、助成金を交付することにより、企業立地を促進し、地域経済の活性化を目的とするもの。

賛成多数で可決  
Q 助成金限度額1億5000万円は高額すぎるのでは。

A この施策は行政戦略であり、積極的に企業誘致を進めていく。

賛成多数で可決



委員長 高味 孝之  
副委員長 伊藤紀味枝  
委員 吳羽 真弓  
" 梶田 和良  
" 大西 宏  
" 森岡 譲  
" 中谷 裕亮

## 子どもの医療費の無料化を拡大

### 厚生委員会

6月15日、本会議で付託された議案4件について、委員会を開催し審査を行った。

**全議案可決**

乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正

今年9月より、京都府の事業に従って、入院にかかる医療費の無料化（個人負担200円/月）を6歳から12歳までに拡大するもの。

Q 現在の制度と9月以降とは、負担はどのようにになるのか。

A 3歳から6歳までの通院にかかる自己負担基準額8千円が3千円に減額になった部分と

差し引きし、244万7千円ぐらいの負担増になると考えている。

賛成全員で可決

国民健康保険特別会計予算

賛成多数で可決  
Q 20年度からの制度改正で、65歳以上は年金から国保税を特別徴収されるが、その周知・啓発についての予算措置はされているのか。

賛成多数で可決  
Q 20年度からの制度改正で、65歳以上は年金から国保税を特別徴収されるが、その周知・啓発についての予算措置はされているのか。

### 討論

A 特に予算化はしていない。しかし、20年度からの医療制度改革については、国保税も関係するので、制度改革の詳細が判明次第、担当各課をあげて、広報やホームページなどで周知体制を取ってきたい。

反対

賛成  
税改正に伴う緩和措置が不十分であり、国保税が高すぎる。保険証の取り上げや短期証問題などにより反対。

賛成

賛成多数で可決  
国保税滞納額約4億円の解消に努力することを条件に賛成。

賛成多数で可決

Q 木津川台に、特別養護老人ホームが建設されると聞くが進捗状況は。  
A 20年4月に開所を予定

### 討論

賛成  
19年度では、旧木津町の住民には、保険料アップとなり反対。

反対

賛成  
合併初年度であり、やむを得ない。賛成する。

賛成多数で可決

老人保健特別会計予算  
予算総額は42億2756万2千円。  
賛成全員で可決

介護保険特別会計予算  
予算総額は28億9300万円。

Q 介護予防の取り組みと、基金積立についてはどうか。

A 特定高齢者には、国が示す運動機能向上事業等を行い、一般高齢者には、旧3町の既存事業を継続して実施する。18年度決算を見込む中で、繰越金を差し引いた額を基金に計上している。



委員長 曾我千代子  
副委員長 出栗 伸幸  
委員 炭本 範子  
" 宮嶋 良造  
" 阪本 明治  
" 山本 喜章

# 水道料金 統一の検討は 9月から

## 産業建設委員会

6月13日、本会議で付託された議案4件について、委員会を開催し審査を行った。

**全議案可決**

### 簡易水道事業特別会計 予算

予算総額は1億3890万3千円。

**Q** 瓶原地区の配水管布設の工事予定は、  
**A** 仏生寺や井平尾など、6工区を予定している。

### 賛成全員で可決

### 水道事業会計予算

**Q** 水道料金の滞納額は。  
**A** 旧木津町4000万円、旧加茂町1500万円、旧山城町3000万円、旧山城町3000万円、総額5800万円程度。

**Q** 水道料金の統一を考えているのか。  
**A** 水道会計の改善は企業努力や料金値上げで解決しない。行政と議会とで京都府に対し、基本水量の見直しを訴える必要がある。市長を先頭に府との話し合いを進める。

**A** 審議会を9月頃に立ち上げ、その中で検討する。

**Q** 水道水を京都府から1万2千トン買っているが、2千トン弱が余っている。  
**A** 府の条例では基本水量の見直しができることになっている。木津川市、京田辺市、精華町あわせて3万6千トンで契約しているが、その中で調整するよう府から言われている。

「給水原価の低減に向け、京田辺市、精華町とも協力し、府に強く働きかけること」を委員会の意見として付けた。  
**賛成全員で可決**

委員長	深山 國男
副委員長	織田 廣由
委員	尾崎 輝雄
"	村城 恵子
"	西岡 政治
"	片岡 廣



# 教育施設の 充実に向けて 市立学校を視察

## 文教常任委員会

6月28日、閉会中の委員会を開催し審査を行った。



市立小学校13校（木津7校・加茂4校・山城2校）、市立中学校4校（木津2校・加茂・山城各1校）の視察を行い、現状と課題について教育委員会と協議を行った。

現地の確認では、新しく建てられた州見台小学校と市内唯一の木造校舎である恭仁小学校や上狛小学校、南加茂台小学校、木津中学校、山城学校給食センターにおいて、校長等の現場管理者から説明を受け、現状を確認した。

視察終了後、教育委員会と協議を行った。協議

の中で学校施設の新旧については理解できる面もあるが、学校設備（特に電算関係）において格差が生じている。

合併後については同じ市立学校として、教育の充実に向け整合性を図る必要がある。

また、夏の暑さ対策や、泉川中学の給食問題等、さまざまな課題がある。

委員長	倉 克伊
副委員長	七条 孝之
委員	鳥野 均
"	酒井 弘一
"	中野 重高
"	吉元 善宏

今後、文教委員会と市教育委員会の果たす役割は大きく、子どもたちの教育の充実に向け、あらゆる対策を検討する。

## 一部事務組合議会

一部事務組合は市町村の事務の一部を共同処理するため設けられている。（木津川市が属する組合は6団体。）

加茂笠置組合議会議員	
織田 廣由	
梶田 和良	
酒井 弘一	
深山 國男	
阪本 明治	
山本 喜章	
片岡 廣	

国民健康保険山城病院組合議会議員	
織田 廣由	
尾崎 輝雄	
梶田 和良	
宮嶋 良造	
倉 克伊	
深山 國男	
西岡 政治	
中谷 裕亮	

相楽中部消防組合議会議員	
伊藤 紀味枝	
島野 均	
出栗 伸幸	
七条 孝之	
森岡 讓	
中野 重高	
吉元 善宏	
木村 浩三	

京都府後期高齢者医療広域連合議員	
曾我 千代子	

相楽郡西部塵埃処理組合議会議員	
呉羽 真弓	
大西 宏	
村城 恵子	
高味 孝之	

相楽郡広域事務組合議会議員	
炭本 範子	
酒井 弘一	
阪本 明治	
山本 喜章	
木村 浩三	

### Q 施政方針内容の具体策は A 財政難だが努力する



曽我千代子

質問 総合計画の策定は、企画会社に丸投げせず、住民意見を反映した木津川市らしいものを作って欲しい。

(市長) 合併の基本計画に基づき、地域審議会を始め、皆様の意見を聞きながら進める。

質問 今からは自然環境が重要資源になる。開発地域と保全区域の場所を明確に分けたまちづくりを望む。

(市長) 学研都市内に企

業誘致し、加茂や山城の歴史・文化は大事にする。

質問 働きたい女性にも家庭で子育てしたい女性にも、育児支援は必要。幼保の一元化などで対応して欲しい。

(市長) 検討したい。子育て支援ナンパワンのまちを目指している。

質問 高齢者や障害者を切り捨てないで欲しい。

(市長) 充分な施策を考えたいが、財政が厳しいので思う様に行かない。

質問 市の家計簿のよくな物を作って、予算を詳しく市民に公開してはどうか。市民みんなで町づくりを考えて貰えるきっかけになる。

(市長) 今年は難しいが、次年度くらいには作成していきたい。

差をなくすることが急務である。

市長の公約等では、抽象的なスローガンばかりで、具体策や数値目標が示されていない。住民の皆さんが知りたいのは、事業に対しての実現手段を明記し、各政策の実行期限やそれに充てる財源を明示して優先順位もつけ、具体策をわかりやすく説明することでは。

行財政改革では、国・府からの依存体質から脱却し、国・府の政策を忠実に下請け

し、失敗しても補助でしりぬぐいされるといふ考えをすて、自立することが必要では。

(市長) 十分な数値目標と契約期日を示すには至らなかったが、「木津川市総合計画」を羅針盤として、説明責任を果たしながら、限られた財源の中で、順序を決めて事業を進めていく。行財政改革は、検討委員会を立ち上げ、財政が厳しい現状だが、国・府に頼らなく自立していく自治体を確立していく。



充実した施策の実現を

### 木津川市の土台づくりは



高味 孝之

### Q 予算編成の重点施策は

### A 8つの大きな項目を柱に

質問 19年度一般会計

予算は旧3町の継続統合予算でなく、選択と集中の政策型予算が必要であるが、予算編成方針とマニフェストとの関連は。

(市長) 予算は三位一体改革と地方財政制度の

変革期に、地方交付税の大幅削減等により、厳しい中の予算編成となった。3町の見積りを持ち寄り旧3町長が協



山本 喜章

議し当面の3カ月分を暫定予算とした。さらに合併協議を加味し予算額とした。

重点施策は、旧3町の特性を活かした発展・新しい市の一体性

の確保など8つの大きな項目を柱として組み立てた。

質問 木津川市の基本計画の策定方針と新市の方向性は。

(市長) 基本構想と基本計画の策定の期間はおおむね2年。19年度に

市民の参画をしていた「新市総合計画審議会」設置、総合計画策定の為の組織造り、アンケート調査を実施し、基本構想部分の間案の策定をした。総合計画で示すまちづくりの方向性は、3町総合計画と、合併協議時の新市基本計画を継承すると共に、公約を考慮し、魅力的なまちになるための指針を策定する。

### Q マニフェストの取り組みは

質問

旧3町の特性を活かし、学研都市機能を活用して企業等を誘致し、税収の増加と雇用促進の具体策は。また、観光資源を活用し観光拠点やルートの開発は。地域資源を活用し、都市近郊型農業の確立とは。



伊藤 紀味枝

入は、市税の収納率アップは。清掃センター建設の早期解決は。

(市長) 企業立地促進条例を創設し、優遇策を提供し、投資および障害者を含めた雇用の促進を図る。また、国宝や文化財の保有量を

安心安全のまちづくりの危機管理課設置とは。具体的な行財政改革とは、指定管理者制度の拡大とPFI事業の導

活かし、旧3町をつなぐルートを開発しPRする。また、農業の生産力・加工力・販売力の拡大プラス観光力を融合し、農業経営の確立。関係機関と連携・協力し、危機管理体制を構築、役割分担を明確にする。

目標達成型の組織体制を築き、行政推進計画を策定。指定管理者制度やPFI事業も視野にいれる。

納税意識の啓発を行なう。

現在の候補地を含め、幅広い観点で早期実現へ。



木津川市の発展を

### Q 増税から市民の命とくらしを守れ

#### A 少子高齢化で財源確保の課税必要

質問 老年者控除の廃止や年金控除縮小で、非課税世帯から課税世帯に変わる対象者は何人か。

収入は増えないのに非課税から課税に変わり、介護保険料や国保税が大幅に上がり、くらしを直撃している。

負担ばかりが増えてはくらしがいけない。

国保税は滞納すると保険証を取り上げる方針がでている。命にかかわる問題で、実態を把握すべき。市独自の軽減も必要。

(市長) 非課税から課税になった方は約1000人。少子高齢化社会へむけ財源確保に必要な措置で、国保税も介護保険料も2年間の激

変緩和特例措置がある。

国保税滞納者264件に納付誓約や分納で、半年間の短期証を発行した。半年後に滞納しているなら、保険証の返還を求め資格証明書を発行を検討。

質問 旧木津に合わせた保育料だが、旧加茂では、課税額の少ない世帯の保育料が、年間7万2000円も増加する。子育て支援に逆行している。

(市長) 旧3町で基準が異なり、すべての階層で低くすることはできなかった。ご理解を。

通院も卒業まで無料に



村城 恵子 議員

質問 府の助成枠も広がり、入院が小学校卒業まで無料になる。通院も小学校卒業まで無料にできないか。園部町が高校卒業まで、久御山町や宇治田原町は小学校卒業まで、通院も無料になった。

(市長) 財政的に市独自の施策は難しい。

清掃センターの候補地は

質問 清掃センター建設候補地はどこか。

カン・ビン一緒の収集で、旧加茂・山城の分別意識が混乱した。今後の対応は。

産廃投棄が後を絶たず防止のパトロールが必要。

(市長) 清掃センターは、幅広い観点から選択肢を検討していきたい。

分別は広報誌等での啓発を強化する。産廃投棄は業者委託で、定期的な不法投棄撤去を実施する。

憲法を守り平和事業を

質問 日本共産党は憲

法を変えるのではなく、憲法を暮らしに生かそうと考えている。

憲法を守る立場にある市長の考えは、今こそ平和事業の具体化が必要。

(市長) 憲法を守ることが当然。憲法を変えることは別の問題。事業取り組みは意見を参考にしたい。



打越台に代わる清掃センターは

### Q 市民からの要望には誠実な対応を

#### A 最善の策を検討していく

質問 市長のマニフェストには協働という言葉がよく出てくる。行政の側が住民から信頼される事から始まると思う。旧3町からの要望書の取扱いは住民からの理解を得ているのか。

(市長) 旧3町からの要望書は約1000件を超えている。総務課での受け取り内容については、該当の課に照会をかけた期限付きで回答を受け一括取りまとめの上、各行政区に回答している。内容は現場の状況確認等を行い、すぐに対応が必要なもの、予算措置を要するもの、要望に添えないもの等を整理して

各行政区に十分に理解をいただけるよう回答している。また、単独要望は該当課から直接回答している。提出された要望書は全て整理をし保存している。要望書を集約出来る担当を設置することについては、旧3町の要望事項を整理し、最善の策を検討していく。

早急に安全な学校施設に

質問 児童生徒が一日の大半を過ごし、災害の時は地域住民の避難場所になっている学校の耐震診断とその後の補強工事等の進捗状況は。また木造の恭仁小学校に対する考えは。

(教育長) 耐震診断は100%実施している。

改修工事が必要なのは16棟あり、早急に改修工事を実施し安全な学校施設となるよう進めていく。木造校舎は耐震診断の方針は現時点ではないが今後つめていきたい。

質問 4月現在保育所の待機児童が14人いる

が、待機することに対して理解は得られているのか。

(市長) 送迎の関係で他

園への入所が困難であり、理解は得られていると思う。来年4月に定員120名の保育園



織田 廣由

が開園予定なので、この時点で待機児童の問題は解決する予定。

質問 今年4月、ガン対策基本法が施行されたが木津川市としての対策は。

(市長) ガン予防の啓発、知識の普及、食生活や生活習慣の改善の推進、早期発見のための検診を進めている。



学校の安全対策の充実を



マニフェストの取り組みは

実践可能なプランづくり

Q 「放課後子どもプラン」を夏休み限定で12校に試行するが、児童の活動場所は。児童クラブは登録制だが希望児童の調整は。下校時の安全面は。費用負担はあるのか。運営委員会などの様に。

A 市長 空き教室を限定で6年生まで拡大・留守家庭児童、保護者が迎える。費用負担は府と国の回答待ち。相楽台小学校区をモデル校区として各関係者の協力を得て、実践可能なプランづくり。平成21年度までに見直し、旧3町の整合性を図る。保育所待機者児童のゼロを目指す。



伊藤紀味枝

市民意識の融合  
Q 市民意識の融合を図るためにも、木津川市まつりなどの実施は。各種イベントや旧3町の伝統行事などの対処は。

A 市長 市民の一体性の確保が大事、旧3町のまつりは現時点

での一本化は困難、関係団体と調整し進める。伝統行事も含めて文化財等の豊富な資源の情報をホームページや広報で発信する。



相楽台児童会



格差のない市の発展を(山城町地内)

格差と融合

知恵を結集し格差のない町づくり

Q 中心部と周辺におけるサービスの格差は生じないか。3町融合の具体的説明を。

A 市長 地域審議会を設置し、皆様のご意見を参酌しながら市政を進めていくことになっ

ており、特定地域にこだわることなく、バランスのとれたまちづくりができるものと考えている。木津川市総合計画を策定し、市民の皆様、議会行政の知恵を結集し、意見を出し会い、実現に向けて進んでいく。また、



七条 孝之

市民の皆様と一緒にイベントに取り組み、新しい市としての一体性を確保する。これも融合の一つのきっかけになると考えている。



来年4月から校区が変更(木津第二中学校)

木津川台地区の校区変更具体化は

来春の新生から木津第二中学へ

Q 木津川台地区の中学校区変更を検討し、方針を決めるとしていたがその具体化は。現校区の木津中学校は木津川台、梅美台、州見台の人口増により、今年度生徒数は706人となり限界に近い。一方、木

津第二中学校は生徒数350人で横ばいである。また、雨天通学に巡回バス利用の便宜を。直行の路線を望むが、暫定的にも山田川駅で乗り継ぎ易いダイヤ編成や、乗り継いでも100円の通学優遇策を。



大西 宏

A 教育長 中学校間の生徒数を平準化するために、校区変更が必要と考える。そのため来年4月から木津川台小学校区の新中学1年生より、木津第二

中学校へ校区変更をする。2学期早々に細部を表明できるように進める。巡回バスの運行は、公共施設への利便性やバス交通の空白地帯の解消目的で運行しているので、通学を第一にルート変更や運行時間変更を直ちにすることは困難がある。現行ルートで乗り継ぎや通学対応料金設定ができないか、検討する。

加茂の優れた自校給食の存続は

当面存続する

Q 旧加茂町では、自校給食の存続と泉川中学校の自校給食実施を求める請願を、全議員賛成で採択している。給食は、手作り・行事お弁当・アレルギー対応食など優れている。存続と実施を。

A 市長 当面、自校給食は存続する。泉川

中での実施は、既存施設の利用も含め、検討する。

Q 加茂の赤田川は、上流の養豚場が原因で汚れている。京都府や奈良県に強く働きかけ、全面解決に乗り出すべき。養豚場横の市道も損壊されている。市は告発すべき。

市も赤田川問題解決へ。加茂の赤田川は、上流の養豚場が原因で汚れている。京都府や奈良県に強く働きかけ、全面解決に乗り出すべき。養豚場横の市道も損壊されている。市は告発すべき。



村城 恵子

A 市長 現場に行き、状況の認識はしている。法的に告発できるか検討中。

Q 信号機・交番設置を。木津川台は、近鉄からの基金(現公共施設整備基金)で、梅美台は、URの設置計画を速

め、信号機の設置を早急に。南地区は交番の設置も要望が強い。

A 市長公室長 京都府警公安部では、以前認めていた信号機の寄付を今は認めていないので、なかなか難しい。交番は光科学館付近で、京都府警に要望している。



自校給食で存続を(南加茂台小学校)

職員の数と人件費の削減を

人件費の削減は合併の大きな目的

行財政改革の最たるものが町村合併。選挙により、旧3町の50人の町会議員が減少され約半数の市会議員が選出された。合併の目的とも言える人件費の削減の洗礼が、まず議員に下された。

従って次に職員の数と人件費の削減を実行しな

ければ、町村合併の意義を失う。

市長 行財政推進委員会を設置し、抜本的に行財政改革を行う。職員の定数管理を十二分に取り組む。

生駒活断層地震が襲つ

震度7以上、死者3千4百人、建物全壊



深山 國男

6万5千棟の大規模地震が京都府南部を襲つという予測が京都府防災会議で発表された。市の防災対策は焦眉の急。

市長 市民の安心安全を考え、防災対策に取り組むため危機管理課を新設した。防災計画を早急に策定する。

身障者用トイレ設置は万全か

調査し、不十分さを痛感

高齢者や身障者にやさしい街づくりの一環として、身障者のトイレの設置はぜひ必要と思うが、市の現状は。また、観光客の受け入れ体制は万全か。

市長 正直いって完全な対応が出来てい

ないのが現状。身障の方達の使用可能トイレ設置状況は史跡や観光施設、公園等に24カ所設置の内14カ所に対応可能。今後、豊富な観光資源を生かした街づくりを推進し、多くの人に観光を楽しんでいただくため、バリアフ



織田 廣由

リー化や身障者トイレの設置等、ハード面における整備も重要であり、今後の総合計画に向けて検討し、住んでよし訪れてよしと思う木津川市を目指す。

24号線の国交省管理トイレの問題点やJR西木津駅のトイレ無設置の件、認識しているか。副市長 現地調査の上、対応を検討していく。

他、合併後の教育委員会として特に力を入れていく点やいじめ問題、不登校の問題等質問した。

近鉄木津川台駅前の整備促進を

総合計画等で位置付けを図る

木津川市の西の玄関としての今後の取り組みは。

建設部長 関西文化学術研究都市、精華西木津地区の木津川市の玄関口として、計画に基づく整備促進を図って行きたい。

市街化区域への用途変更について。

建設部長 今後地元住民や駅利用者の要望を把握しながら、木津川市の都市計画マスタープランに位置づけを明確にし、地元の皆様の意向を聞き調査を図りながら進めたい。



吉元 善宏

自主防災組織の拡充を大規模地震に対応する対策は。

市長公室長 災害予防の対策を図るため危機管理課を設置した。災害対応マニュアル及び防災計画を策定し推進する。

自主防災組織の育成と拡充策は。

市長公室長 現在組織率は5割弱であり今後充実に努めたい。また、自主防災組織間の情報交換、意見交換や活動発表の場を設ける。防災各種訓練の実施や研修会、防災資機材の購入等、活動経費の一部を助成する制度を創設している。防災倉庫の設置も進める。

歴史都市として観光資源の活用は

世界に発信できる取り組みを

環境拠点や環境ルートの開発は重点課題だと、施政方針の中で述べられた。具体的な考えは。

市長 多くの方の意見を集約し、計画していく。

平城遷都1300年記念事業を木津川市は活用すべきと考えるが。

市長 1500万人の来場者を見込んだ大事業に市の魅力をアピールできる計画を推進する。

基本健診・がん検診個別健診となつて基本健診が受けられない人、郵便事情でがん検診が受けられない人が出て



炭本 範子

がん対策基本法が施行された。予防も含めてどう受けとめるか。

保健福祉部長 定員を超えた受診で、3町の前年度の1.1倍の人数。ご理解いただき

交通網の充実を

3町それぞれのバスの事業を、住民サービスの巡回型に、史跡拠点を結ぶ観光型に考慮すべきと考えるが。

市長 当分はこの形態で運行する。



観光資源の活用を（浄瑠璃寺）



防災対策の充実を

自然環境を守るべき

十分に検討する

**Q** 加茂カントリーのフェロシルトの下に入っている堆積物は検査対象になっているのか。

**A** 生活環境部長 京都府と加茂カントリーとでクロス検査を実施する。

大畑にある産廃処理施設の拡張計画は、旧加茂町のゴミを処理する為の計画である。木津川市としてゴミ政策を考えるなら見直しが必要だ。

残土条例が合併で無くなった。早急に制定すべきだ。

**A** 市長 庁内で検討・討議をしていきたい。



曾我千代子

**Q** コミュニティバスの充実をバス問題の解決には奈良交通とのすみ分けが必要だ。国道や府道など幹線道路部分は奈良交通に委託し、在所の狭い道は住民組織活用でのバス運行をすべきだ。

**A** 市長 今後、奈良交通を含め協議をしていく。

住民参加の町づくりを選挙広報等は住民組織でも配られるよう、普段から住民組織と行政が連携しておくべきだ。

**A** 市長 前向きに進めていきたい。



バス交通の充実を（加茂駅）



フェロシルトの撤去が完了（加茂カントリー）

フェロシルト撤去の現状は最後までしっかり監視する

**Q** 加茂カントリーのフェロシルト撤去の現状を問う。また下部に埋設された別の産廃の調査と撤去は、京都府の責任市がどう見届けるか。

**A** 市長 フェロシルト撤去は6月中に完了の予定。住民が非常に心配していることはしっかりと認識。最後まで監視していく。

**Q** エロシルト撤去の現状を問う。また下部に埋設された別の産廃の調査と撤去は、京都府の責任市がどう見届けるか。

**A** 市長 フェロシルト撤去は6月中に完了の予定。住民が非常に心配していることはしっかりと認識。最後まで監視していく。



酒井 弘一

**Q** 加茂カントリーのフェロシルト撤去の現状を問う。また下部に埋設された別の産廃の調査と撤去は、京都府の責任市がどう見届けるか。

**A** 市長 フェロシルト撤去は6月中に完了の予定。住民が非常に心配していることはしっかりと認識。最後まで監視していく。

**Q** 市長公室長 三つのバスの実態と要望の把握を行い、年度内にもまとめたい。自由乗降は危険で行わない。

**A** 建設部長 業者登録の規定がなかった加茂・山城の業者へも柔軟に対応している。



木津第三中学校の建設を（州見台の建設予定地）

行財政改革・自治基本条例で解決を

総合計画策定後に市民と共に検討

**Q** 今求められているのは、質素・儉約・やりくり上手の行財政改革であり、7つの努力目標を提案する。情報公開の徹底 開かれた新しい市政の構築 生活重視、住民主権の推進 住民参加型民間活力の導入 全住民に啓発自主性の高い市政 総合サンセット方

**A** 市長 重要性を鑑み市民の創意に基づき検討。

**Q** 今求められているのは、質素・儉約・やりくり上手の行財政改革であり、7つの努力目標を提案する。情報公開の徹底 開かれた新しい市政の構築 生活重視、住民主権の推進 住民参加型民間活力の導入 全住民に啓発自主性の高い市政 総合サンセット方

**A** 市長 重要性を鑑み市民の創意に基づき検討。



阪本 明治

**Q** 今求められているのは、質素・儉約・やりくり上手の行財政改革であり、7つの努力目標を提案する。情報公開の徹底 開かれた新しい市政の構築 生活重視、住民主権の推進 住民参加型民間活力の導入 全住民に啓発自主性の高い市政 総合サンセット方

**A** 市長 重要性を鑑み市民の創意に基づき検討。

**Q** 木津南・大型店建設の対応は。

**A** 建設部長 住民説明会が十分でないこと判断、また、交通計画も公安委員会指導の下、計画が進行中だが道路構造上、一部無理があると判断し、沿道住民の安全を確保する上で開店後も調査・指導を続ける。

市の業務は、効率的・効果的か

市民サービスの向上に努める

**Q** 三点質問する。本庁と支所、出先機関での連携や支所と各部、各課の連携が図られているか。

**A** 市長 支所で処理し完結できる事務と、法令の定めや許認可権者の関係から担当課で処理する事務がある。支所ですべて完結できない事務は、本庁、支所間、一日2回の連絡便で対応し、その他は、可能な限り支所対応して処理する。支所職員の担う業務は



中野 重高

多岐にわたり、旧3町での業務処理の違いや、過去に経験のない業務があり、本庁と支所が共有する事務処理マニュアルを作成して改善策を策定する。

保健福祉や生活環境を本庁に重点配置した結

果、待合スペースや通路が非常に狭く、ご不便をかけているのが現状。来年6月、新庁舎完成まで最大限、市民サービスの向上に努める。また、臨時職員の任用で業務負担を軽減する。



住民に不便な執務スペース

放課後児童の安心・安全施策とは

必要性を理解し検討する

**Q** 現在対象児童1年〜4年生まで、運営時間は平日は夕方6時まで、休日は午前8時半〜6時までとなっているが、対象児童の拡大、運営時間の延長はできないか。

また、本年、試行として「放課後児童プラン」を実施するが、この導入

を計りながらの、放課後の子ども達の安心・安全施策を問う。

**A** 市長 最近の社会情勢から放課後児童クラブに対する期待や要望が大きくなっている。保護者の就労等の状況から時間延長や対象学年の拡大の必要性は充分理解している。しかし、施設面



倉 克伊

や人的確保・安全面と多くの課題があり慎重に検討していく。

また、新しく創設された「放課後児童プラン」は、夏の放課後児童クラブを対象に学年を6年生までに広げ、今後の放

課後の児童のあり方を検討する「放課後子どもプラン運営委員会」を相楽台小学校的モデル校として行なう。皆さんの想いを理解し、前向きに検討していきたい。



あすなる児童会

(仮称)「くるりんバス」の運行を

早期に事前準備に取り組む

**Q** 市長の思いである旧3町の融合と格差のないまちづくりのため、最初に取り組むべき課題は、市役所を核にJR棚倉駅、加茂駅、木津駅、近鉄新祝園駅を結ぶ(仮称)「くるりんバス」の運行である。バス運行に

対する市長の考えは。当面旧加茂町・山城町から市役所へ2便程度の乗り入れは。

**A** 市長 合併協議会の経過に基づき、今後バス運行のあり方、地域公共交通ネットワークの充実に向け、検討したい。



西岡 政治

そのため、旧3町のバス運行の現状と問題点の把握、近隣市町の現状、採算性、具体的運行計画の検討等早期に事前準備に取り組む。しばらくお待ち願いたい。

**Q** 旧山城町時に質問した国道24号及び旧木津町山松川以東の国道163号沿いのインフラ整備の具体的計画は。

**A** 建設部長 国道24号は、現在国道歩道部への排水路埋設を協議中、上位計画の検討と合意インフラ整備計画を策定する。旧163号沿いは、現時点でインフラ整備を行なう考えはない。



旧木津町を走る(きのつバス)

新生木津川市の観光は

木津川市独自の特徴ある観光

**Q** 新生木津川市として観光発展のため地元商工会、地元産業、農業と地元住民が一体となり木津川市独自の観光事業に持つていき、自然環境豊富な土地、多くの史跡や文化財、伝統行事も取り入れ、地域ポラン

ティアの力を借りビデオ作成し、木津川市の観光PRをしてはどうか。

**A** 市長 観光振興の資源は文化財や風景があり、そこに住む人の心や情緒が必要不可欠である。伝統行事も取り入れ、木津川市独自の観光振興を目指



尾崎 輝雄

すビデオ作成は、活用方法と効果等を見極め検討。

**Q** 今後の企業誘致の見通しは

**A** 市長 本市として税収入が期待される企業は、けいはんな産業創出は、木津南地区の企業は。

木津駅前出店計画は。山城町の準工業地区は。

**A** 市長公室長 135社入居。新たに3社決定。スーパー、薬局、銀行等建設。コンビニ、倉庫等5店舗

**Q** 木津南地区に中学校建設

**A** 教育長 木津南地区の早期建設が必要。に中学校が必要と考



特徴ある観光施策を(当尾の吊り店)

乳幼児医療費助成の拡大を

入院は前進、通院は現状

**Q** 乳幼児医療費助成拡大、通院小学3年までに。妊産婦健診の公費負担を5回に拡大。マタニティマークの配付を。

**A** 保健福祉部長 入院病後児保育の実施を。院は小学卒業まで拡大。通院は現状のまま。

財政厳しいので2回マークの意義を考え検討する。

**Q** 医療機関等と協議して検討する。

**A** EDDを全小中学校に木津川台地区に信



島野 均

役所内で、そうりばきで、非常時どうするか。

**A** 市長公室長 強く公安委員会に要望する。

19年度に泉川中学、南加茂台小学校に設置予定。服装関係については、十分指導徹底する。

**Q** コミュニティバスの早期改善を。特に遅れている山城福祉バスは。

**A** 市長公室長 山城病院行きは、3町バス見直しの時に検討する。



お楽しみ会(いづみ保育園)

駐輪場の月極料金の格差をなくせ

料金の差は仕方がない

奈良市北部図書館  
で本の貸出ができる  
ように。

高の原駅前駐輪場の月  
極料金の格差をなくせ。

**Q** 今後の課題。今は  
移動図書館の利用を。  
料金の差は仕方がない。  
大型店舗建設は住民合意を  
高の原イオンの経  
験を生かし住民の理  
論

**A** 市長 真摯に対応  
していく。

**A** 市長 真摯に対応  
していく。  
ガイドラインで誘導と  
抑制エリアを明確にした。  
バスなどの地域貢献は  
市の意見聴取会議で議  
論

解第一に。  
これ以上、大型商業施  
設の出店を認めないこと。  
出店業者が平城山駅な  
どへバスを走らせよ。

直ちに第三中学校建設を  
州見台に中学校を  
建設し、木津中の全  
面改修を。

**Q** 校区変更は住民の理解  
第一。自由選択も認めよ  
教室に扇風機を。

**A** 教育長 早期に州  
見台に中学校を建設  
し、続いて木津中の改修  
を行う。2学期始めに



宮嶋 良造

公表。保護者の理解に努  
力する。  
未設置校に整備する。

臨時職員の待遇改善を  
臨時職員の賃金支給  
日を改善し、通勤手  
当を正規職員と同じに。

**A** 市長公室長  
真剣に検討する。



大型商業施設の建設始まる（州見台）

真の住民参画に向け、市長の考えは

議会制民主主義が第一

**Q** 口先だけの住民参画  
は意味がない。住民  
投票を究極の参画と位置  
づけ、審議会改革、使用  
料減免統一、施設の予約  
などお金をかけずにでき  
る住民サービスの向上に  
すぐに取り組み。

**A** 市長 市政の重要事  
項の意思決定は議会

制民主主義が第一であり、  
条例制定の意思はない。  
審議会は、個別の判断が  
必要。減免統一は、早急  
に検討。施設空き状況は、  
7月よりHPで確認可能  
財政は、安泰ではない

**Q** 多額の負債を抱えた  
新市。合併で安泰で



呉羽 真弓

はない。人件費を抑制し、  
庁舎建設費の軽減、借金  
等の後年度返済計画の提  
示、補助金改革等に取り  
組め。

**A** 市長・総務部長  
10年間でいかにスリ  
ム化できるかが重要。行

木津町請願のその後は  
**Q** 重度障がい児の週一  
回幼稚園交流の現状  
並びに今後の方向は。木  
津川市としての指針や小  
学校入学への考え方は。

**A** 教育部長 大変よい  
信頼関係が生まれて  
いる。両親の意見を第一  
に、今後相談する。



出栗 伸幸

げべく努力をしてもら  
いたい。

**A** 市長 新市の総合計  
画は、合併協議会で  
策定した新市基本計画を  
継承するとともに、最近  
の社会情勢やマニフェス

トを考慮し策定したい。  
そのためにもアンケート  
調査やパブリックコメント  
により、計画案に意見  
をもらい、市民の皆さん  
にも総合計画づくりに参  
加していただきたいと考  
えている。策定について  
は、市民と職員がおたが  
いに協力しあい、魅力あ  
るまち、活力あるまちを  
築くための指針となるよ  
う努めたい。

新市の総合計画の作成は

市民の意見を取り入れた総合計画を

**Q** 合併後の新市の将  
来ビジョンを一日  
も早く市民の前に示す  
とともに、新市のすみやか  
な一体性の促進、3町の  
地域バランスのとれた発  
展、地域環境や住民福祉  
の向上をめざすための指  
針としての役割を果たす

べく、総合計画の策定は  
早期に着手してもらいた  
い。策定にあつては、旧  
3町のそれぞれの特色  
や、木津川市民が何を求  
めているかを把握し、コ  
ンサルをうまく使って、  
職員の叡知を結集して、  
最少経費で最大効果をあ



総合計画策定には市民の意見を（木津中央地区）



幼稚園での障がい児交流の充実を

交流でお互いの文化を学ぼう

姉妹都市については存続で

**Q** 旧丹後町・木津町  
の交流が始まって  
24年、この間多くの団体  
が交流を深めた、しかし  
丹後町が合併により京丹  
後市になり一部団体を除  
き交流も途絶えた。

今一度京丹後市、木津  
川市との姉妹都市を結ぶ  
べきだ。

**A** 市長 合併協定項目  
で姉妹都市について  
は存続の方向で新市で調  
整を図ることになってい  
る。

今後皆さんの意見や考  
えも踏まえて調整する。



森岡 譲

どうなる高齢者医療制度  
平成20年4月からは  
じまる後期高齢者医  
療制度や特定健診、特定  
保健指導の体制や周知は  
どうするのか。

**A** 国保医療課、健康推  
進課、高齢介護で実

施に向け調整を行ってい  
るところである。

周知については年度内  
に2回広報紙やホームペ  
ージの掲載。  
また、敬老会などのイ  
ベントでパンフレット等  
を配付する。



琴引浜（京丹後市）

# わたしの意見

このコーナーへの投稿を、お待ちしております。



井上 一雄 さん

## 防災雑感

旧山城町に越して来て三十有余年。我が人生のほぼ半分をこの地で過ごして来た。豊かなみどりときれいな空気と文化財に恵まれた環境下で、子

どもたちは生まれ巣立って行った。我が子を育ててくれた地域に、少しでもご恩返しをと、長年培った防災の知識を活かして動き回っているうちに、いつの間にか高齢者になった。木津川市誕生で、地域も新たな一歩を踏み出したが、現状認識を誤ることのないよう、公害ならぬ「老害」にも気をつけて、老骨に鞭打つ所存。

## お知らせ

9月定例会は9月10日(月)からはじまります。

## 編集後記

木津川市の議会だより「創刊号」を、お届けします。手元に届いたら、読みたくなる議会だよりを、読んだら議会がよくわかる記事をも、思いながら編集しましたが、創刊号を形にするだけで精一杯でした。ぜひ、お読みになった感想を、お聞かせください。毎号改善しながら、開かれた議会の一端を担えるよう、努力をまいります。

村城 恵子



## 広報編集委員会

- 委員長 村城 恵子
- 副委員長 呉 羽 真 弓
- 委員 伊 藤 紀 味 枝
- “ “ “ “ “ “
- 曾 倉 酒 炭 島 伊 藤 紀 味 枝
- 我 千 代 子



田中 勝男 さん

## 良識と常識の生きる市政を！

新しい市になり一年目、何事も初めが肝心といえます。行政では地方自治の原点に立ち、市民第一の視点で施策を見直す。議会は数の論理に走ることなく、良識を持ち審議

をお願いしたい。そして、木津川市は常識の生きる市へ成長することを願っています。又、私達は戦争のない平和な生活が続くことを願っています。それを形あるもので表現されることを望みます。最後に周辺部に住む市民として、市の後援や手続きが支所のできるようにする。このような市民に温かい市政を望みます。

## 共に生きる



戒崎 綾子 さん

重度障がいをもつ息子は幼稚園へ行くと表情を輝かせる。クラスメイトは癖のある息子の手の動きに慣れ上手に遊んでくれるようになった。「共に育つ」からこそ

成し得た成果と思う。「命」が軽く扱われがちな社会となった今、生きることに素直で一生懸命な弱者にもっと学ぶべきではないか。共に生きて理解し、お互いの違いを認め合うことは、心豊かな人間を育て、真の平和へも繋げられると思う。木津川市には、弱者が活躍できる施策や共に生きれる場の提供を期待する。